

目次

はじめに

たつの市で想定される災害	1
防災マップの目的	2
防災マップの使い方	2

水害編

洪水	3
洪水時の適切な避難行動	4
土砂災害	5
いろいろな情報収集の方法	6
マイ・タイムラインを作しましょう	7
洪水・土砂災害ハザードマップ索引	9
洪水・土砂災害ハザードマップ	11
高潮ハザードマップ	47

地震編

地震・津波	49
地震発生時の行動	51
震度分布	53
津波ハザードマップ	55

災害に備える

避難所一覧	57
マイ避難カードを作しましょう	59
地域での防災	59
マイ避難カード	60
自宅での防災	62

For foreigners

(外国語にも対応しています)

Hyogo
Emergency Net
(ひょうご防災ネット)



Hyogo Prefectural
CG Hazard Maps
(兵庫県CGハザードマップ)



防災マップの目的

「たつの市防災マップ」は、市で起こり得る災害とその被害の想定を地図に示した「ハザードマップ」です。もしもの時に少しでも被害を軽減するため、市民の皆さんは想定される災害と被害を知り、対策を考え、実際にできることから取り組んでください。

1 知る

「たつの市防災マップ」は、市で想定している災害とその被害想定を、地図で示しています。
まずは、自宅や学校、勤務先等にどのような災害と被害が想定されているかを知りましょう。



2 考える

想定される災害と被害をもとに、いざという時に何をしなければならないのかを考えてみましょう。
防災マップに記載されている災害時に発表される情報や、とるべき行動、心得等を参考にしてください。



3 備える

災害に対応するには、日頃の備えが重要です。
災害が発生する前から防災対策に取り組み、いざという時に備えましょう。



たつの市で想定される災害

洪水



台風による大雨や局地的大雨、集中豪雨等により、河川からの氾濫が発生します。

土砂災害



山やがけ地では大雨等による土砂災害が発生します。

高潮



台風等の強い低気圧により、海沿いの地域では高潮による被害が発生します。

地震(揺れによる建物の倒壊等)



山崎断層帯(主部北西部)や南海トラフ巨大地震が発生すると、市内全域で建物の倒壊等大きな被害を及ぼします。

津波



南海トラフ巨大地震が発生した場合、海沿いの地域では津波による被害が発生します。

液状化



地震の揺れにより液状化が起こり、マンホールが浮き上がったり、建物の倒壊や道路の陥没が発生します。

防災マップの使い方

1 自宅を見つけましょう

自宅の周りではどんな災害と被害が想定されているかを確認しましょう。



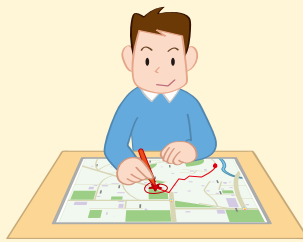
2 避難する場所を確認しましょう

自宅の最寄りの避難所に印をつけましょう。また、第2候補、第3候補も決めましょう。



3 安全な避難経路を決めましょう

自宅から避難所までの避難経路を考えましょう。川・海・山の近くを通るルートは危険なので避けましょう。



4 実際に避難経路を歩いてみましょう

足元が悪い状況でも安全に避難できそうか確かめましょう。地図上では分からない危険が潜んでいるかもしれません。



5 家族で話し合しましょう

災害時の行動について家族と話し合い、マイ・タイムライン(7～8ページ)や、マイ避難カード(60～61ページ)に書き込んでみましょう。



6 学校や近所で考えましょう

学校や近所で災害について話し合うことも大切です。いざという時には周りの人と協力して避難しましょう。

